

国立大学法人 愛知教育大学附属名古屋中学校  
第58回教育研究発表会

意識的に吟味した考えを表現することができる子どもの育成  
— 批判的思考を用いた授業の創造 — (2年次)



内 容

✎ 9 教 科 の 学 習  
✎ 帰 国 生 徒 教 育  
✎ 学 校 保 健 教 育  
✎ 講 演

期 日

平成27年10月2日(金)

会 場

国立大学法人 愛知教育大学附属名古屋中学校

後 援

愛知県教育委員会  
愛知県小中学校長会

名古屋市教育委員会  
名古屋市立小中学校長会

## 第58回教育研究発表会御案内

残暑の候、皆様には、ますます御活躍のことと、お喜び申し上げます。日頃より、本校の教育研究活動に格別の御支援を賜り、感謝いたしております。さて、平成26年度の次期学習指導要領改訂の諮問でも、21世紀を生き抜く子どもを育てるために「生きる力」を育むことを重要視しています。「生きる力」を育むために、国立教育政策研究所から、資質・能力を基礎力・思考力・実践力の三層構造にまとめた「21世紀型能力」が提案されました。本校では、その中核である思考力を育む教育として、昨年度より、「意識的に吟味した考えを表現することができる子どもの育成―批判的思考を用いた授業の創造―」を主題として研究を立ち上げ、教育研究活動に取り組んでまいりました。昨年度（1年次）は、各教科における批判的思考を用いた授業を具体化していくことを目指しました。その結果、各教科の共通の手だてとして、授業の指導過程の中で批判的思考の四つのプロセスに従って批判的思考を用いる場面を位置づけることができました。

この成果により、本研究が、学習指導の改善充実に資するものとして、今年度（平成27年度）より、国立教育政策研究所から教育課程研究指定校事業として3年間（2年次～4年次）の研究期間の委嘱を受けました。担当官による指定校訪問により、研究の質を高めるとともに、積極的に情報提供を行い、研究成果の普及に努めていきたいと思っております。

教育研究発表会には、多数の皆様にご出席を賜り、御意見、御指導を頂戴できれば幸いに存じます。皆様から頂いた御意見、御指導を今後の教育研究にいかすとともに、附属学校としての役割を果たしてまいりたいと考えております。今後とも本校の教育研究に、御理解と御支援を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

【研究の詳細につきましては、本校のWebページを御覧ください。 <http://www.nj.aichi-edu.ac.jp/>】

### 目 程

8:30～9:00	受付
9:00～9:15	3年生による合唱
9:15～9:40	全体会 司 会 教 頭 榊 原 将 道 挨拶 挨拶 校長 戸 谷 義 明 基調提案 研究主任 高 武 和 弘
10:00～12:00	公開授業

#### ☆ 第1時限 公開授業① 10:00～10:50

教科等	学年・組	単 元 ・ 題 材	授 業 者
国 語	1年B組	小説の鑑賞をしよう	横井 祐亮
社 会	3年D組	私たちの生活と経済	加藤 一輝
数 学	2年D組	確率	梶田 章浩
美 術	1年D組	じっと見つめて	秋田 英彦
家 庭	2年C組	幼児の生活と家族	馬場 恵美
英 語	3年A組	Debate単元 “Japan Should Introduce Daylight Saving Time”	高野賢一郎 Gerald Mclellan
帰国(理科)	1年E組	力	近藤 健司

#### ☆ 第2時限 公開授業② 11:10～12:00

教科等	学年・組	単 元 ・ 題 材	授 業 者
国 語	3年A組	小説の書評を書こう	上條 聡
社 会	1年A組	世界の諸地域 ～アジア州～	大河内信博
数 学	3年D組	関数 $y = ax^2$	高橋 寿典
理 科	2年A組	電流と回路	伊藤 一真
音 楽	1年C組	日本語の美しい響きをいかして歌おう	粥川 宏輝
保健体育	3年C組	球技：ゴール型（バスケットボール）	榊原 章仁
技 術	3年B組	プログラミングによる計測・制御―センサーを使って、制御ロボを思いどおりに動かそう―	野田 浩正
英 語	2年B組	Unit 4 Homestay in the United States ―我が家のルールを紹介しよう―	伊藤 慎治

発表者	指導助言者・共同研究者	司会者
松山 宜申 上條 聡 横井 祐亮	<b>国語</b> : 言葉を用いて熟考し, 自分の考えを筋道を立てて表現することができる子どもを育む国語科の授業 津島市立天王中学校 校長 太田 智博 先生 愛知教育大学 教授 藤 智博 先生	名古屋市立香流中学校 教務主任 小出 正哲 先生
後藤 俊輔 藤河内 信博 大村 三将	<b>社会</b> : 社会の一員として意思決定をする力を育む社会科の授業 名古屋市立黄金中学校 校長 水野 信輔 先生 愛知教育大学 教授 近 藤 裕幸 先生	東郷町立高嶺小学校 教頭 水野 和幸 先生
山高 中橋 梶田 寿章 牛田 啓典 孝文	<b>数学</b> : 数学的リテラシーを育む数学科の授業 - 批判的思考を用いる活動を通して - 名古屋市立稲西小学校 校長 永井 康聡 先生 愛知教育大学 教授 飯 島 康之 先生	春日井市立西部中学校 校務主任 荒川 真一 先生
森川 晋平 伊藤近野 健修	<b>理科</b> : 科学的な見方や考え方を深める理科の授業 - 批判的思考を用いた上で考えを競合させることを通して - 春日井市立石尾台中学校 校長 南平 英雄 先生 愛知教育大学 教授 野 俊 雄 先生	名古屋市立津賀田中学校 教務主任 阿比留 慶治 先生
安立 豊子 粥川 宏輝	<b>音楽</b> : 創意工夫してよりよい表現をする子どもが育つ音楽科の授業 愛知県総合教育センター 研究指導主事 山本 由佳 先生 愛知教育大学 教授 新山 王政 和 先生	名古屋市立熊の前小学校 教務主任 松坂 圭子 先生
秋田 英彦	<b>美術</b> : 創造的な技能を発揮し, 思いを形にすることができる子どもを育む美術科の授業 名古屋市立駒方中学校 校長 彦坂 隆之 先生 愛知教育大学 教授 富 山 祥 瑞 先生	蟹江町立蟹江北中学校 教頭 安井 明人 先生
杉本 好永 榊原 章仁 水野 実	<b>保健体育</b> : 運動の楽しさや喜びを味わう子どもが育つ保健体育科の授業 - ICTを用いた学び合う活動を通して - 東海市立富木島小学校 校長 伴 浩人 先生 愛知教育大学 教授 森 勇 示 先生	名古屋市立守山北中学校 教務主任 高橋 幸久 先生
野田 浩正 馬場 恵美	<b>技術・家庭</b> : 生活を工夫し創造するための適切な判断ができる子どもが育つ技術・家庭科の授業 犬山市立東小学校 教頭 若原 公代 先生 愛知教育大学 講師 伊 深 祥 子 先生	名古屋市立神沢中学校 教頭 水野 康孝 先生
中村木 綿子 伊藤 慎治 高野賢一郎	<b>英語</b> : 気付きを促し, コミュニケーション能力を育む英語科の授業 - 批判的思考を用いるための構成要素に着目して - 名古屋市立一柳中学校 校長 平田 茂樹 先生 愛知教育大学 教授 建 内 高 昭 先生	日進市立赤池小学校 教頭 近藤 浩章 先生
伊藤 大和 近藤 健司	<b>帰国</b> : 個々のアイデンティティ形成を目指す帰国生徒教育 - 多様なエスニシティを基盤として - 愛知教育大学 教授 稲葉 みどり 先生 ※ 帰国生徒学級において, 理科の授業公開とともに, 帰国生徒学級の様子や研究の概要等をポスターセッション形式で公開します。	

学校保健教育研究協議会

テーマ「健康情報リテラシーを育む保健教育 - 批判的思考を用いた活動を通して -」  
 指導助言者 愛知教育大学 教授 古田 真司 先生  
 司会者 名古屋市立吹上小学校 養護教諭 加藤 和美 先生  
 提案者 附属名古屋中学校 養護教諭 森 慶 恵

学校保健教育公開

※ 本校の保健室を公開し, 室内の環境を見ていただくとともに, 本校の保健活動や取組, 保健委員会の活動等について紹介します。また, 1年E組教室において保健の授業をビデオ公開いたします。

演題 「求められる資質・能力とこれからの学び」  
講師 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 基礎研究部 後藤 顕一 先生

<プロフィール>  
1989年~2008年 埼玉県立高等学校教諭  
2008年~2009年 埼玉県教育局指導主事  
2009年~ 現職

<主要著書>  
『魅せる化学の実験授業—高等学校「化学基礎」編』 (共著, 東洋館出版社)  
『教育課程の編成に関する基礎的研究 報告書』 (国立教育政策研究所)

### 参加申込

#### 申込み方法

Webか、同封の申込用紙に御記入の上ファックス (FAX: (052) 722-3812) で申し込んでください。  
なお、Webの方は、本校ホームページ (<http://www.nj.aichi-edu.ac.jp/>) にある「研究情報」から申し込んでください。

- ☐ 締切り 平成27年9月16日(水)
- ☐ 問合せ 愛知教育大学附属名古屋中学校 TEL: (052) 722-4613
- ☐ 参加費 一般3,000円 大学生・院生1,000円 (当日, 受付にてお支払いください。)
- ☐ 昼食 当日, 本校において弁当の販売をいたします。御希望の方は, 参加申込の際に予約を  
してください。なお, 当日は販売所で食券をお求めいただき, 代金1,000円をお支払い  
ください。

### 交通方法

#### 本校への主な交通機関

##### 【地下鉄】

- ・名城線「砂田橋」下車1分  
※地下鉄は, 1番出口が便利です。

##### 【JR中央線】

- ・千種駅又は大曾根駅で乗り換え  
市バス「砂田橋」又は地下鉄「砂田橋」  
下車

##### 【市バス】

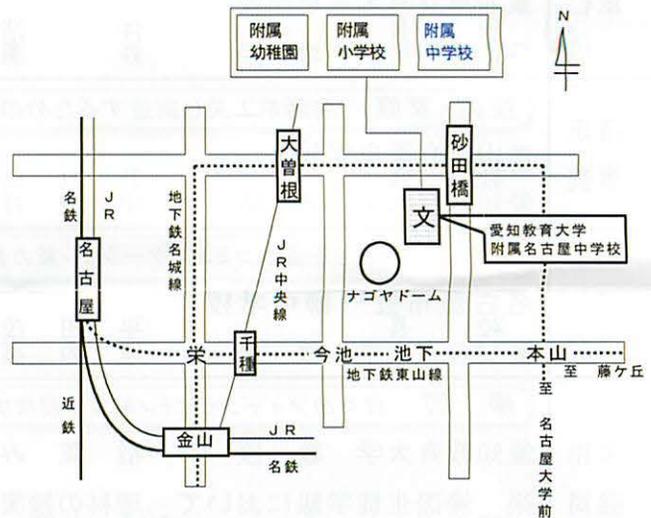
- 名駅15 名古屋駅—砂田橋行  
・「砂田橋」下車1分
- 千種11 千種駅前—砂田橋行  
・「砂田橋」下車1分
- 幹砂田1 池下駅前—大森車庫行  
・「砂田橋」下車1分

##### 【ゆとりーとライン】

- ・「砂田橋駅」下車1分

#### 駐車場

本校運動場に用意いたしますが, 十分なスペースを確保できませんので, できる限り公共の交通機関を御利用ください。



### その他

本学校法人では, 5月1日(金)より10月30日(金)まで, 軽装での執務を励行しております。